1. 授業の概要(ねらい)

本授業でははじめに、実際に行われた心理学研究を紹介する。研究者たちにはどのような問題意識があり、その探求にどのような手法が用いられ、どのような結果が得られ、それらがどのように考察され結論づけられるか、という一連の研究の流れを解説する。その後より専門的な講義やグループワークを通して、心理学的な物の考え方の基礎を身につけることが目的である。

2. 授業の到達目標

心理学研究法の基礎を身につける。
心理学研究の結果をデータから正確に読み取ることができる。
研究者の視点で、身の回りの問題について考えることができる。

3. 成績評価の方法および基準

授業への参加度30%、中間課題30%、期末レポート40%で総合的に評価する。
“授業への参加度”とは、毎回の授業時に課される小レポートや確認問題への解答をすることであり、社会的状況が整いグループワーク等が実施された場合は、その作業シートなどが含まれる。中間課題は最終レポートに向けた中間報告(複数回)であり、到達度について、授業内で教員が全体的に解説する。

4. 教科書・参考文献

教科書

浦上昌則・脇田貴文 『心理学・社会科学研究のための調査系論文の読み方 改訂版』 東京図書

5. 準備学修の内容

予習: 事前に指定・選択した論文や、教科書の一部を読んでレポートを提出する必要がある。各回で何をすべきかは授業内で指示する。

予習・復習: 授業時間外で調査にまつわる作業やそのためのグループワークを行う必要がある。
授業で配布した資料、ノートなどを読んで復習すること。

6. その他履修上の注意事項

第1回イントロダクションに必ず出席し、この授業の進め方をよく理解したうえで受講すること。期限内に第1回授業の授業課題をLMS上で提出すること。欠席した場合の不利益が大きいため注意すること。また、この授業は資料配布や課題提出等でLMSを利用するので、使い方を習得しておくこと。

グループ活動を通して作業および意見交換等を実施するため、授業への積極的参加が求められる。

授業計画は、進行状況に応じて調整する場合がある。授業の具体的な方法については、社会的状況を鑑みて変更されることがあるので、授業内での説明をよく聞くこと。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション
- 【第2回】 心理学研究とは
- 【第3回】 心理学の研究プロセス: 仮説生成, データ収集, 結果分析と考察
- 【第4回】 研究の展開: オリジナリティ追求と知見の積み重ね
- 【第5回】 論文を読み解く手法についての解説
- 【第6回】 調査結果などを報告する手法についての解説
- 【第7回】 パーソナリティの記述1: 前説・グループワーク
- 【第8回】 パーソナリティの記述2: 発表
- 【第9回】 パーソナリティの記述3: 解説
- 【第10回】 概念のまとめ(オンデマンド※授業週(全14回)とは別途設定・実施する。期日等詳細は授業内で発表する)
- 【第11回】 無意識へのアプローチ1: 前説・グループワーク
- 【第12回】 無意識へのアプローチ2: 発表
- 【第13回】 無意識へのアプローチ3: 解説
- 【第14回】 行動, 態度, 意識, 無意識を読み解く
- 【第15回】 前期の総合解説